



成果指標				
成果指標	当該年度の農業用廃棄物回収・再生処理量／前年度の農業用廃棄物回収・再生処理量×100 なお、就農研修資金償還免除事業は、裁量の無い経費の支出事務のため指標設定は行わないものとする。			
指標設定の考え方	耕作放棄地が年々増加する中、回収・再生処理を行った農業廃棄物の処理量を昨年度実績と比較することで、市民生活の環境保全に寄与する事業効果を測る。なお、就農研修資金償還免除事業は、請求に基づき償還予定額を支給する裁量の無い事務のため、指標設定は行わないものとする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100%以上	100%以上	0	0
実績	109.6%	102.2%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	農業廃棄物処理事業に係る業者選定手法については、県産プラ推進協議会等において検討し、競争原理が働く手法にて実施された。事業効果は高く、引き続き適正な事業実施に努めるのみであり認められる課題はない。また、就農研修資金償還免除事業については、県主導で実施されており、裁量の無い経費の支出事務として課題は認められず、間接的に育成・支援に努めるのみである。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	農業廃棄物処理事業においては、今般の農業は施設等を利用した栽培形態が増加しており、そのために需要も増加傾向にあり、事業効果も高くJAと一体となって継続した事業の推進を図っていきたい。また、就農研修資金償還免除事業については新規就農者への支援策として県との連携のもと今後も継続していきたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題